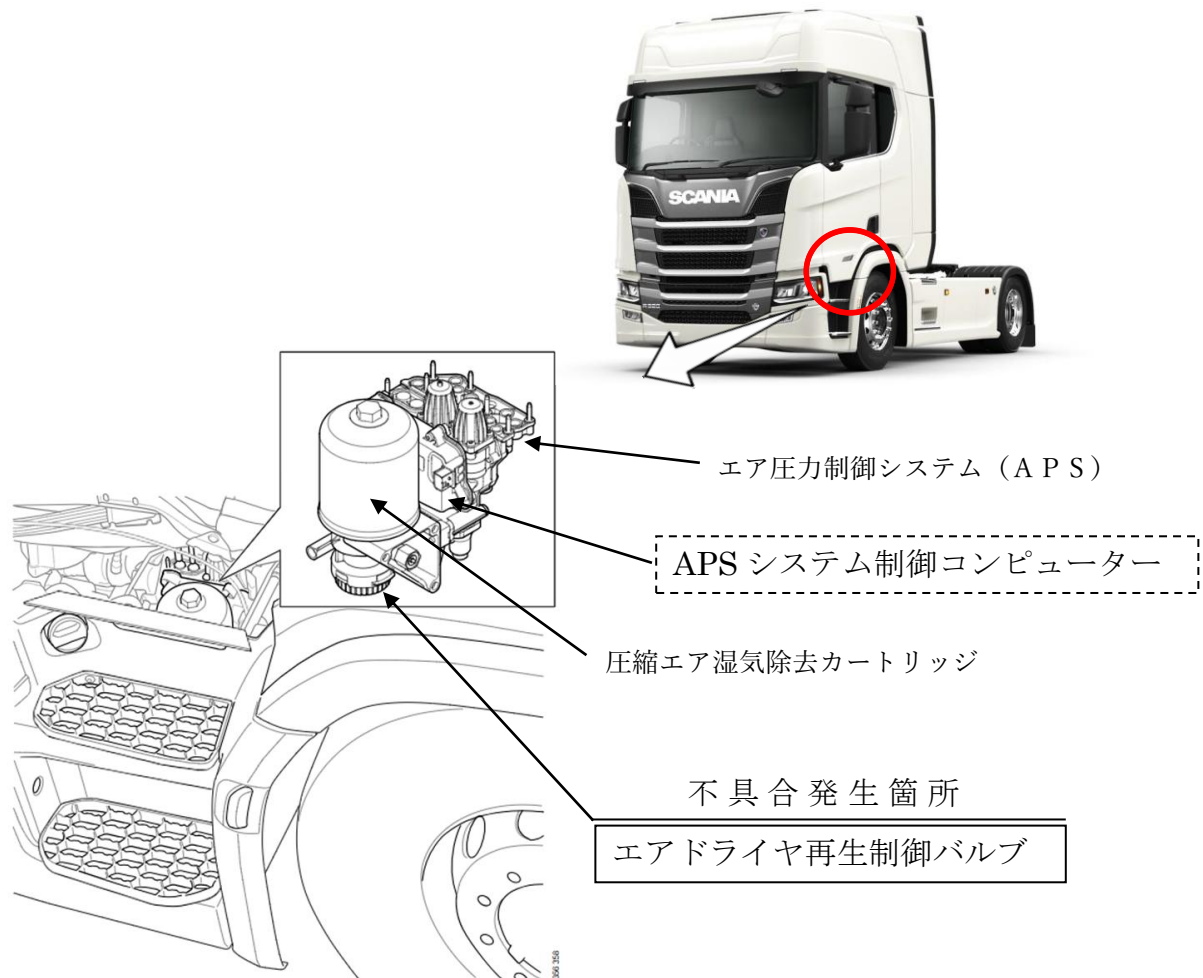


## 改善箇所説明図



### 不具合の内容

エア圧力制御システム（APS）において、

①エアドライヤ再生制御バルブのシールの材質が不適切なため、圧縮空気中の油分でシールが軟化してエア圧力の気密が保持できないことがある。

②制御プログラムが不適切なため、外気温度が低い時に圧縮空気中の水分が氷結し、バルブの密閉を妨げてエア圧力の気密が保持できないことがある。

そのため、エア漏れが発生して警告灯が点灯し、そのまま使用を続けるとエア圧力が下がって非常ブレーキがかかり走行不能となる。又は、エンジン始動後にエア圧力が上がらずにパーキングブレーキが解除できず、走行不能となるおそれがある。

### 改善の内容

全車両、エアドライヤ再生制御バルブを対策品に交換するとともに、外気温度が低い時に圧縮空気中の水分の氷結を防止する対策プログラムに書き換える。また、エアドライヤ再生制御バルブを定期交換部品に設定し、メンテナンスノートに定期交換時期（1年）の記載を追加したシールを貼付する。

注： ☐ は対策品に交換する部品を示す。

☐ はプログラムを修正する箇所を示す。

識別：型式プレートの余白部分に、白色ペイントを塗布する。